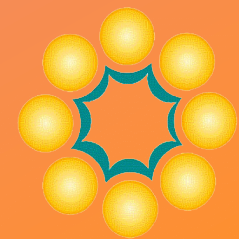


北アイルランドとイギリスにおける 修復的対話実践



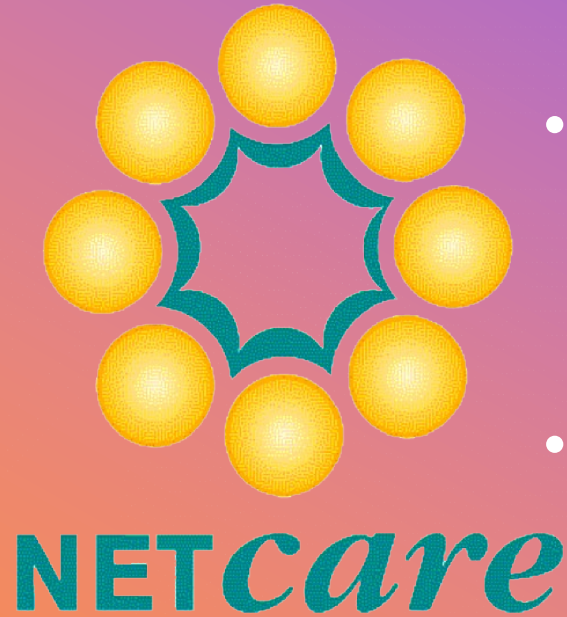
ジム・マックグラフ

Jim McGrath



NETcare

自己紹介



- 過去30年間、調停、紛争解決、修復的实践にかかわる。
- 紛争時代および停戦後の北アイルランドで、紛争双方のコミュニティや戦闘員との調停・交渉に携わったのが最初の実践である。
- ソーシャルワーカーとして、学校や家庭に修復的対話実践を導入してきた。
- 学校、地域社会、少年犯罪などの被害者とともに働き、家族の対立と虐待を専門としている。
- 国際的な講演者であり、著者でもある。

北アイルランドの社会的コンテクスト

RESTORATIVE PRACTICES IN NORTHERN IRELAND & GB

- 北アイルランドの一部の地域社会は、違法な準軍事的集団に警察の役割を依存していた。
- これらのグループは、警察や国に代わり、その人が受ける罰を決め、その罰を執行していた。
- 彼らは、その人をコミュニティから追放したり、足首、膝頭、手などを銃で撃ったりもした。
- 停戦と和平合意の準備のために、準軍事組織は、反社会的行為に対処するための、より人道的な方法を探した。
- 彼らは、修復的司法と調停を選び、それが地域社会に良い影響を与えると認識した。
- 青少年司法は、進歩的な学校が反いじめや行動アプローチの一部として採用する前に、同時に、この修復的対話プロセスを使いはじめた。



学校のコンテクト

RESTORATIVE PRACTICES IN NORTHERN IRELAND & GB

- 学校は、生徒を退学させても行動が変わらないことを認識し始めた。
- 退学させられた生徒の92%が許容できない行動を繰り返し、さらに、退学させられた子どもは犯罪行為に走る危険性が高いという調査結果が出た。
- 小学校は、コミュニティ意識と帰属意識を高めるために、修復的対話サークルを定期的に行うサークルタイムを早期から取り入れた。
- 修復的対話サークルは、子どもたちが恐れずに自分の心配事や希望、願望を口にする機会になった。
- 調査から、生徒たちは、より前向きな見通しをもつことができるようになり、容認できない行動に挑戦することができるようになり、より地域社会に責任を持つようになった。



- この方法を採用した学校では、学業成績も向上した。
ナンシー・リーゼンバーグ 1997 (Nancy Reisenberg 1997)

7/1/2023

修復的な連続体 Restorative Continuum

普遍的なエンゲージメント Universal Engagement

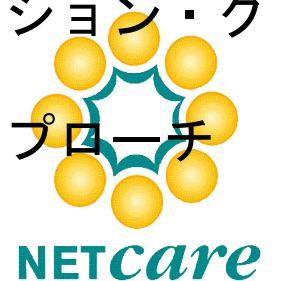
- ・ 言語
- ・ 共感
- ・ 思いやり
- ・ 探究心
- ・ 好奇心
- ・ 価値(観)
- ・ 認識すること
- ・ 聴くこと
- ・ アファーマティブな発言
(積極的な格差是正の発言)
- ・ 非暴力コミュニケーション
- ・ 非審判的態度

インフォーマル実践 Informal Practices

- ・ 修復のための質問
- ・ 三方向シャッフル
- ・ 感謝するための質問
(Appreciative Inquiry)
- ・ インフォーマルなメデイエーション
- ・ ネゴシエーション
- ・ 理解するための質問
- ・ パーソンセンタード・プラクティス
(人間性中心/来談者中心実践)
- ・ 修復的対話サークル・アプローチ
- ・ システミック・プラクティス

フォーマル・プロセス Formal Processes

- ・ ファミリー・グループ・カンファランス (家族会議)
- ・ 修復的対話会議 (地域会議)
- ・ 理解し合うミーティング
- ・ 地図作成と経路計画
- ・ メデイエーション
- ・ 修復的対話サークル
- ・ ファシリテーション・グループ
- ・ サークル・アプローチ



小学校以降の学校で

小学校以降の学校は、修復的な学校から入学した子どもたちに、次のような傾向があることを認識した。

- より行儀が良い
- より責任感がある
- より自信を持っている
- より尊重できる
- 攻撃的でなくなる

そこで、彼らは、独自の修復的アプローチを採用し始めた。これには以下が含まれる。

- クラスルーム・サークル
- 修復的な調停のテクニック
- 修復的な言葉
- 修復的な親としてのクラス





- ヘーゼルウッドは統合学校（プロテスタント、カトリック、その他の信仰を共に学ぶ学校）である。
- 英国で最も危険で、経済的に恵まれない地域であるベルファストの北部に位置する。
- 生徒間の緊張が高まって、1999年に修復的対話アプローチを採用したところ、すぐ対立が減った。
- 学校内の代表者が移動し、修復的対話アプローチが一貫して使用されなくなった。
- 2014年、新入生による許容できない行動が増えたため、再び導入された。



バランス・モデル

- 被害を受けた人、被害を与えた人、地域社会のニーズを満たすこと



生徒たちの体験

被害を与えた人

「以前なら先生に怒鳴っていたかもしれないが、修復的対話を使っ
てから、自分の行動を変えられるようになった。先生たちの気持ち
を理解できるようになった。」

「友人グループでも修復的対話を使うことができるようになりましたし
た。友達グループでも使えるようになりました。」

「以前は、喧嘩のことを気にして、ワークに集中できなかったの
成績の向上に役立っています。今、私はそれで対処できることを
知っているの、恐れることや、恐しいことについて常に考える
うなことはありません。」

「修復的対話アプローチを始めてから、学校がよりポジティブにな
りました。先生方との関係もずっとポジティブな良い関係になりま
した。」

「あなたが何か悪いことをしたとしても、私たちはずっと幸せにな
り、より安全で、より正直でいられるようになりました。」



学校の経験

「私たちの考え方に大きな変化がありました。私たちは、従来の罰というアプローチから、生徒が、他人を傷つけることが与える影響を理解し、自分の行動を自分でコントロールできるようにすることができるようになりました」。

「グループや1対1の衝突が激減したため、それを、さらに深く掘り下げて、そのことを行動指針に完全に組み込んでいます」。

「人間関係を修復せずに罰や制裁を加えても、問題は解決しないことがわかりました。人間関係の構築と学習が問題解決につながり、行動に大きな影響を与えるのです」。

「10代の少年は、教師とのポジティブな関係に前向きです。彼らのための、人間関係に関する学習は非常にポジティブなものでした」。

「私たちはまだ旅の途中であり、長い道のりがこれからもありますが、この旅に立てたことを嬉しく思っています」。



ジョアンナ・クウィン 学年主任

RESTORATIVE PRACTICES IN NORTHERN IRELAND & GB

「私たちは常に、生徒と教師の関係が修復され、問題が修復的に処理されていることを確認します。学校に入ってきたときに、安全だと感じられることが重要です。」

「教師が生徒と一緒に教室に戻ってきたとき、その生徒が安心して、安全に感じられることが重要です。」

「学校に来たときに、安心して勉強できることが大切です。修復的な学校は、生徒が勉強に集中できます。修復的対話実践を再導入してから、試験の成績も向上しました。」

「生徒たちは、学校でも、家庭でも、多くの課題を自分たちで解決しています。保護者から、子どもが家庭で、自分や兄弟と一緒にそのスキルを使っていると報告を受けています。」

「生徒たちは、学んだツールやスキルを地域社会でも活用し、紛争解決のリーダーになっていきます。」

“人間関係は確実に改善され、学校はより調和がとれています”

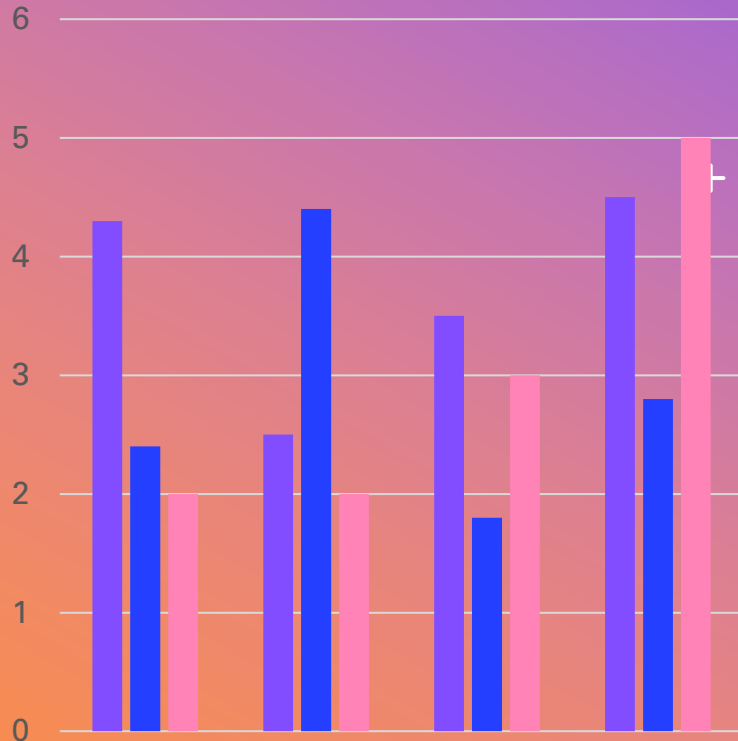


学校全体ホールスクールアプローチ



- すべての生徒が、集会、定期的なサークルタイム、カリキュラムを通して、修復的正義の理念、価値、哲学を学ぶ。
- 全スタッフは、言語、修復的メディエーション、紛争解決について学び、訓練を受ける。
- 少数のスタッフと生徒が、代表として指名される。
- 一部の生徒は、修復的メディエーションの訓練を受けている。
- 容認できない行動があった場合には、適切な修復的対話アプローチで対処する。
- スタッフは毎週、チェックインという修復的な対話を行っている。
- 保護者には、修復的親業のクラスがあ。

結果



生徒たち

- 96% あらゆるタイプの対立に対処できる、より良い方法だと思う。
- 86% 学校で自分が大切にされていると感じている。
- 86% より安全で充実した生活を送っていると感じている。

教師たち

- 92% この方法を懲罰に代わる方法として勧めたい。
- 78% 生徒が、規律により敏感に反応するようになった。
- 82% 職場に行くのが楽しくなった。

親たち*

- 子どもたちの雰囲気に変化があった。
- 教員に自信を持って話せるようになった。
- 学校スタッフとの関係が改善された。
- 子どもとの関係が改善された。

ありがとうございました



Jim McGrath
NetCare Training and Consultancy
8 Turnavall Road
Newry
Northern Ireland

T: 0044 771414 6044
E: info@netcare-ni.com
W: netcare-ni.com